

☆公害による健康被害を許すな!

☆自然環境・

生活環境の
破壊を
許すな!

しゃくやく

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19

内本町松屋ビル10 370号

TEL 06-6949-8120

FAX 06-6949-8121

E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp

URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫

年間購読料一部2,000円(送料共)

郵便振替 00910-7-300387

公害患者会が大阪市交渉

測定体制はできても対策は…

PM2.5で
大阪市

大阪公害患者と家族の会連合会は5月9日、公害患者の権利を守り、公害対策を求める要望書に基づく交渉をしました。会場のあべのルシアスには森脇君雄会長はじめ患者ら37人が参加しました。大阪市からは、渡辺和彦・保健所公害健康被害補償担当課長、森河内麻美・保健主幹、北野善美・環境管理部環境課長代理、福本弘・環境規制担当課長代理らが出席しました。

改善しつつあるものの今も深刻な汚染が続いている大阪市内の二酸化窒素の大気汚染で患者側は、交通規制や車線削減などで大型車そのものを減らすことを強く求めましたが、市側は「1時間値の1日平均値0・06ppmを達成し、さらに0・04ppm以下をめざす」と繰り返し返すばかり。努力表明はするのですが、具体的に有効な対策を示すことはできませんでした。

PM2.5対策では、3年間で環境省が決めた設置基準を満たすことを目指していた測定体制では、12箇所の整備が完了したと回答しました。患者側は、道路沿道を含めてすべての測定局に測定器を設置するよう求めましたが、市側は応じませんでした。また、公害裁判の和解で設置された国道2号と43号の測定局では、平成17年からずっと環境基準を大きく上回っているデータを示して、自動車からのPM2.5対策の緊急性を指摘。「中国からの汚染以前に国内の沿道対策こそ急ぐべきだ」と強く求めました。市側は、「PM2.5が環

市民の安全と暮らしを脅かす オスプレイが八尾空港に!

松井大阪府知事、橋下大阪市長が、「沖縄の負担軽減」の名で「オスプレイの訓練を八尾空港で」と突然発言。地元八尾市長も「遺憾」「反対」の意を表明する事態になっています。

ター基地となっています。しかし、市街地の真ん中にあり、毎日のように編成を組んで飛び立

つへリコプターの騒音で近隣住民は日常生活にも支障をきたす状態です。こんなところにオスプレイの運用などとてもない話です。

いま市民を中心に「松井・橋下発言の撤回」「八尾空港でのオスプレイ運用反対」の声とともに、そもそも米軍基地が日本に存在することへの疑問の声も起っています。

(八尾杜保協事務局)

深津士朗)



オスプレイ(上)と八尾空港(下)



境基準に不適合だという認識はある」とはいうものの、肝心の対策となると具体性がありませんでした。

引き続き保健所との交渉では、公害医療や転地療養の問題を中心に意見交換しました。参加者からは、高齢化による治療と薬に関する様々な問題が日常的に発生している実態が語られ、早急に解決が求められていることが明らかになりました。患者側から「現場で起こっている実態を調べて欲しい」「情報を共有し問題解決につなぐための懇談の場をつくること」を提案しました。

(上田敏幸)